

「土木！この素敵な仕事（仮題）」

土木技術者入門書

執筆者公募のお知らせ

立命館大学技術士会

出版プロジェクト委員会

1. 公募の概要

(1) 出版の趣旨

近年、日本では土木技術を学ぶ学生が減少傾向にあります。また、学校を卒業しても、他の業界などに就職し、建設業界に進む若者が少なくなっています。

土木は、古来より人々の生活や産業の基盤を築いてきた大事業であり、土木技術者は、これを将来の世代に引き継ぐという重要な役割を担っています。

これまで日本の土木技術は、裾野の広い教育と技術者によって支えられ、世界に冠たる技術を持った、まさに美しい富士のようでした。もちろん今なお高いレベルを保持しているものの、現状に甘んじることには危惧を覚えます。

このような状況を当技術士会も肌で感じ、もう一度、日本の若者の気持ちを国づくりに向かわせたい、その一助になるような書籍を出版したいと考えています。

(2) 概要

タイトル： 土木！この素敵な仕事（仮題）

出版形態： 電子書籍を予定

応募対象者： 立命館大学理工学部土木工学科（当時）から、現在の理工学部環境都市系に至る卒業生とし、詳細は4の公募対象を参照して下さい。（なお、技術士その他の保有資格は関係ありません。）

本の構成： 全24編（予定）のエッセー集とし、その内、16編を公募します。

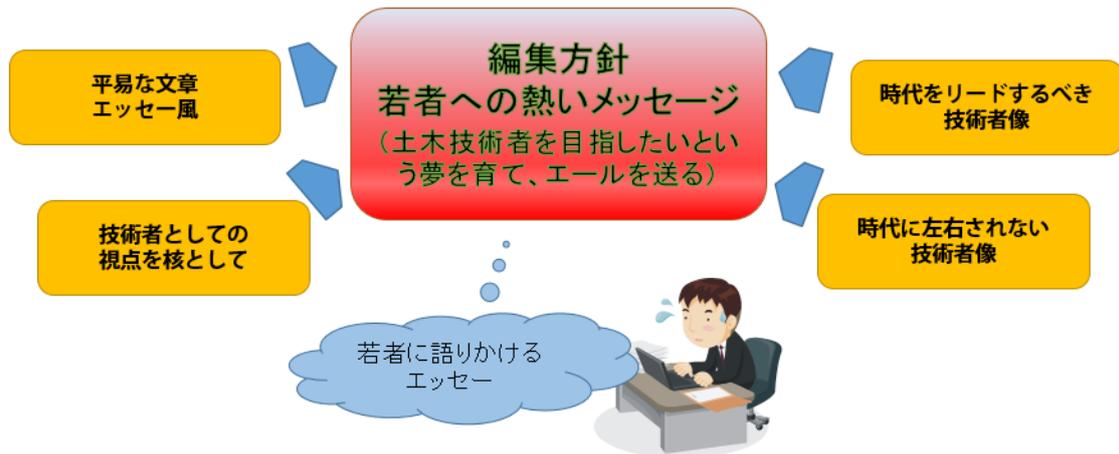
想定する読者： 立命館大学の環境都市系の現役学生を中心とし、これから進路を考えている高校生などの若者、業界の人々、一般の読者なども想定

選考者： 立命館大学技術士会 出版プロジェクト委員会

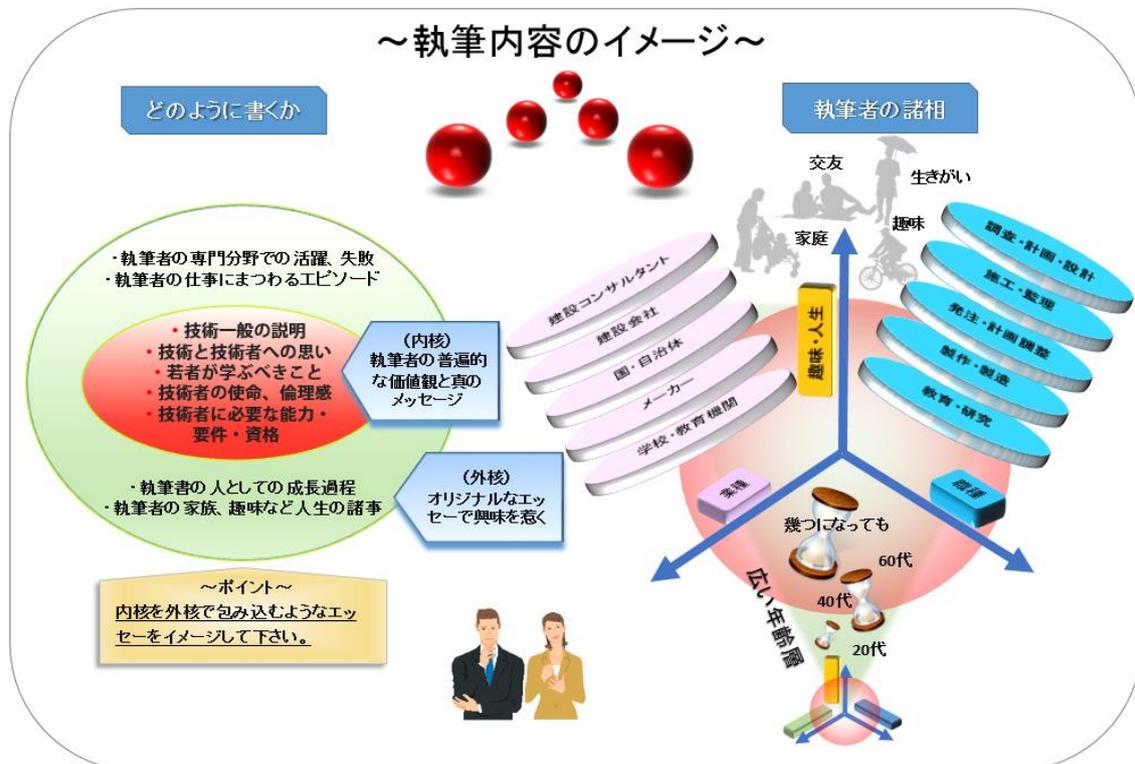
2. 公募方針について

(1) 応募者へのお願い

出版の趣旨や下の編集方針に、ご賛同いただける方の応募をお願いいたします。



3. 執筆内容のイメージ



4. 書籍の全体構成（予定）と、公募対象

公募テーマ	番号	タイトル ～副題は自由～ 若干の変更あり	期待する内容	想定する職種 (前職含む)	想定する年齢	全体の編数 24編	左記のうち 今回公募する編 16編
働く姿	1	建設会社での一週間	それぞれの職場での具体的な待遇や仕事の中身を、エピソードも交えつつ、これから社会にでる若者に説明をする気持ちで。成功、失敗談、やりがい、または、転職への悩みも抱えつつ日々生きる姿を描いてほしい。	建設会社	どちらかと言えば現役世代	全国規模1 地元1	すべて
	2	コンサルタントでの一週間		コンサルタント		全国規模1 地元1	全国規模1編
	3	行政技術者の一週間		国交省・公団等		国交省1 公団、財団等1	すべて
	4	ものづくりの一週間		自治体		都道府県1 市町村1	すべて
	5	ものづくりの一週間		メーカー系		1	すべて
	6	教育者の一週間		教育		1(大学教員)	公募対象外
	7	研究機関での一週間		民間研究職		1	すべて
土木と人生の広がり	8	タイトルおよび副題自由	土木を通じて触れ合ったさまざまな世界のこと。一見、土木に関係ないような日常生活や家族風景、趣味、校友など、土木という仕事に引き寄せながら語るオリジナリティー溢れる一編を期待したい。	特にここでは自由とする。職種はこだわらない。	年齢は不問	12	左記のうち 7編
次世代へのメッセージ	9	若者に期待すること、土木の未来	次世代の若者に伝えたい土木の役割とその仕事を選ぶことの意義。この本の総括的な部分。	職種を超えて	広く土木と人生を見渡せる年代	1	公募対象外

注：1～7 および 9 のタイトルは若干、変更の可能性はあります。

5. 応募詳細

(1)公募スケジュール

エントリー	概要提出締め切り	平成 26 年 12 月 31 日
選考結果通知		平成 27 年 2 月末
本原稿締め切り		平成 27 年 5 月末
出版予定	電子書籍	平成 27 年 7 月末頃

(2)エントリー方法

応募しようとする公募番号（4. の表に記載の1～8）、氏名、卒業年度及び学部学科、略歴（現職あるいは前職など、固有名は特に不要）、および採否通知用のメールアドレスと共に、投稿予定原稿の概要を 400 文字以上、800 文字以内で記載し、PDF でメールにて提出をお願いします。様式は自由で、本エントリーをもとに選考いたします。

(3)本原稿の様式

選考の結果、採用を通知された応募者は、以下の様式で本原稿を作成し、MS-Word で提出してください。

データ種類	本文	タイトル	文字数・余白	枚数
MS-WORD® 2003以降	横書き MS明朝 10.5ポイント	一行目にタイトル (MSゴシック 11ポイント 太字) タイトルの下に副題を入れて下さい。 ～副題(MSゴシック 11ポイント)～	一行文字数 40文字 行数 36行 余白 上 35mm 下 30mm 左 30mm 右 30mm	左記要領にて 4.5枚以上で5枚以内 を厳守

(4)様式見本（本原稿）

タイトル MSゴシック11太字
副題 MSゴシック11

もっと広い世界へ
~国際会議への道~
1行空ける 10.5

僕の選んだ道
卒業の時期になり、同級生は、当然のようにして一人また一人と公務員、建設会社、コンサルタント、そして大学に残って学業に励むもの、それぞれの道を……いる僕に、ある日突然、一つの使命が加わった。
小見出しで適当に区切る MS明朝10.5太字
1行空ける
本文 MS明朝10.5

新たな挑戦
技術論文をアメリカの国際会議で発表することになった……を言い訳にして、国内の論文発表すらほとんどやって来なかった僕に、今更、そんなことができるのだろうか。僕はその時、……遣伝子が長い人はその傾向にあるらしいので、いつか絶対に調べてみたい。

(5)その他の注意点

- ① 提出していただく本原稿は、最終的に書籍になる時は、様式変更や、挿絵追加などがあることをご承知おき願います。
- ② 応募は、一人一編として未発表のものに限ります。
- ③ 選考結果の通知は、採否にかかわらずエントリーされた方、全員にメールで直接、通知します。この際、選考理由についてはお答えできませんのでご了承ください。遅れる場合は、本技術士会ホームページ上でお知らせします。
- ④ 原稿料はお支払いいたしません。また、採用された原稿の著作権は立命館大学技術士会に帰属するものとします。
- ⑤ 提出先・質問先 エントリー、本原稿共に、以下の立命館大学技術士会出版プロジェクト編集部宛にお願いします。

rits.kouhou.kiroku@gmail.com

6. 本原稿の文体事例 (参考)

もっと広い世界へ ～国際会議への道～

僕の選んだ道

卒業の時期になり、同級生は、当然のようにして一人また一人と公務員、建設会社、コンサルタント、そして大学に残って学業を続けるもの、それぞれの道を決めた。僕と言えばまだこれだと心に決めた進路もなく、友達が急に遠い存在に感じて、一人取り残された

・・・持って生まれた遺伝子としか言いようがない。余談だが、これは科学的に解明されていてドーパミンD4受容体の遺伝子が・・・

人生のツキについて

人生のツキについてどうしても語っておかないと、この後の話が續かない。僕には人との出会いや付き合いに関して、間違いなく幸運の神がついている。これまで、たくさんの人が僕の人生に深く、温かいインスピレーションを与えてくれた。

お遍路さんと土木技術 ～技術の内在化とは～

遍路事始め

お遍路さんになりたい。なって四国の夏を歩きたい。

はやる気持ちが体内を旋回し始めると、もう自分では押さえきれない。心気が沸点に達した時、歳は六十の手前になっていた。

定年を一年残し、職場を去る。組織の習わしだった。誤算のような前倒しに、半ば小躍りし、出立の準備を始めた。

土木事業の絶え間ない叡智

我が国経済の屋台骨を支えるインフラストラクチャー（略して、インフラ）。物資の輸送に道路がつくられ、洪水の防御に河川が改修され、環境の改善に下水道が敷設される。結果、便利で、安全な都市ができ、豊かな暮らしができるようになった。

以上